

【中小企業振興円卓会議】
令和5年度専門部会 活動成果報告書

活動名	採用戦略アウトリーチ事業
部会名	ソーシャルリクルーティング推進部会
部会長・副部会長名	部会長 瀧上 悟
代表団体名	公益社団法人 松山法人会
構成メンバー	愛媛県若年者就職支援センター、松山商工会議所、えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会、えひめ女性活躍推進協議会
事業期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
事業費 (うち補助金) ※見込額	1,527,534円 (1,450,000円)
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)</p> <p>1. 学生の職業観を満たす「働きやすい職場づくり」を進める優良企業情報を学生に提供 「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」の活用 ・Bankの登録企業数 5社追加登録 総登録数：50社→55社へ</p> <p>2. 求人活動のブラッシュアップアウトリーチ支援 ・学生や大学の就職支援担当者、先進企業の採用担当者、専門家等がチームを組み、企業が取り組んでいる（予定も含む）求人活動をブラッシュアップした。 【支援企業】4事業所 【支援チーム】合同会社EIS 西村友祐氏、社会保険労務士 脇本美緒氏、中小企業診断士 岩本航氏、愛媛大学社会共創学部2名（2回生）、松山大学経済学部2名（2回生1、4回生1）</p> <p>○支援企業への事前アンケートの実施 ○7/31 キックオフミーティング ○ブラッシュアップ支援の状況 事業所A（建設業）8/17、9/15、12/13 支援内容：学生に響く求人票の作成、Instagramからの発信、新卒採用の見直し等 事業所B（サービス業）8/17、9/13、11/27 支援内容：学生の意見を取り入れた新入社員や上司とのコミュニケーション等 事業所C（卸売業）8/18、10/3、12/6 支援内容：学生から見た自社の求人方法、若年求職者へのアプローチ方法、HPやInstagramでの求人等 事業所D（広告業）10/17、1/9 支援内容：求人方法の見せ方、転職人材の教育や定着、階層別研修等 ○11/27中間報告・相談会 ○支援企業への終了後、アンケートを実施 ➡支援企業からは、経営陣の考えを聞く機会が持てて大変ありがたかった。2025年の採用に向けて方針が固まった。企業目線で記載していた求人内容を学生目線で記載する意識に変化した。切り口を変えればチャンスが多いことに気づいた。Z世代が何を求めているのか、自分たちの世代とは何が違うのか、時代背景を踏まえて、コミュニケーションを取る際の意識に変化が出てきた。などの回答があった。</p> <p>○活動成果の総括について ブラッシュアップ支援の4社全部の企業から、アンケートで今回の訪問について、大変満足の回答をいただいた。専門家3名と学生2名でチームを組み、それぞれの立場で意見を述べ、各企業では採用担当者だけでなく、経営陣の考え方を聞く時間も設け、経営者と採用担当者が同じ方向を向いて採用活動をする重要性を感じた。また、今回は専門家だけではなく、現役大学生もブラッシュアップに加わり、現在求められている学生目線の求人については好評を得た。どの業種も人手不足となっており、求人で新卒を求めるのも大事だが、20代の若手の転職求人にもシフトさせることも重要であると感じた。</p>
課題・提案等	<p>・デジタルツールを利用した求人情報の発信については、学生の感覚を掴み、企業の実態に合った効果的な手法の選択が必要になるため、学生の生の声を伝える支援を行った。 ⇒SNS発信や求人票による情報発信については、HPや会社案内で表現できない職場の雰囲気等の情報を発信してもらうことを提案した。</p> <p>・より多くの休職者から応募してもらうことを目標に、大企業と同じ土俵で活動を行っている。 ⇒少ない応募者でもよいので求める人材と出会えることを目標に活動を行うため、欲しい人材像、採用方針等の精度を高めること、採用後の人材育成を重視することを提案した。</p>
備考	(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)

【必要な添付書類】

- 活動記録等参考となる書類（任意様式）
- 収支決算見込書

【中小企業振興円卓会議】
令和5年度専門部会 収支決算見込書

1. 収入の部

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
松山市補助金	1,450,000 円	1,450,000 円	0 円	
法人会負担	28,400 円	77,534 円	-49,134 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
合 計	1,478,400 円	1,527,534 円	-49,134 円	

2. 支出の部

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
人件費	540,000 円	762,480 円	-222,480 円	
人件費	50,000 円	163,265 円	-113,265 円	法定福利費、通勤手当 (雇用保険、労災保険)
報償費	400,000 円	401,600 円	-1,600 円	個別支援謝金 4社×2回×6名 全体コーディネーター4名(各社1名) チーム結成のためのミーティング 1回
需用費	24,000 円	0 円	24,000 円	コピー・消耗品等
旅 費	0 円	818 円	-818 円	駐車場代
使用料及び賃借料	256,000 円	59,605 円	196,395 円	パソコンリース、ネットワーク代 事務所費(光熱費込)
使用料及び賃借料	50,000 円	0 円	50,000 円	チーム結成のためのミーティング等
役務費	24,000 円	900 円	23,100 円	郵便料、電話料
消費税	134,400 円	138,866 円	-4,466 円	
合 計	1,478,400 円	1,527,534 円	-49,134 円	